

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	IPPO須磨校			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		～	2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		～	2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操に特化した支援を行い、体を動かすことを通して楽しみながら児童の成長を支援しています。	児童一人ひとりの発達段階や得意・不得意に合わせて体操内容を調整し、無理なく参加できるようにしています。	体操活動の内容を工夫しながら、楽しみながら身体機能や協調性を育める支援に充実を図っていきます。
2	事業所全体が明るく元気な雰囲気、児童が前向きな気持ちで活動に参加できる環境が整っている。	できたことや頑張った過程を大切に声かけを行い、成功体験を積み重ねられるように意識しています。	児童一人ひとりの成長や課題を職員間で共有し、より適切な支援ができるようミーティングや振り返りを行っています。
3	送迎時の保護者との会話や送迎時に会えない保護者にはHUGアプリを通して活動の様子を共有し、保護者との連携を大切に支援を行っています。	日々の活動の様子や児童の成長について、送迎時に共有するだけでなく、HUGアプリを通して写真で活動中の姿や頑張っている様子を視覚的に伝えられるように意識しています。	送迎時の保護者との会話を大切に、日々の様子や家庭での状況を共有しながらより深く連携を深めるとともに、HUGアプリでの情報発信を継続し、写真だけでなく活動のねらいも分かりやすく伝えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースが限られている。	活動スペースが限られているため、活動内容や人数によっては十分な空間を確保することが難しいことがある。	活動内容やグループ分けを工夫し、安全に配慮しながら効率的にスペースを活用できるように検討していきます。
2	地域との関りや連携が十分とは言えない。	事業所内での活動が中心となっており、地域との交流の機会が少ない状況である。	地域の施設の活用や、地域への行事への参加などを検討し児童が地域と関わる機会を少しずつ増やしていけるよう取り組んでいきます。
3	職員の研修機会が十分とは言えない。	日々の業務を優先する中で、職員研修の時間を十分に確保することが難しく、計画的な研修の実施が十分行っていない状況である。	職員間での情報共有や事例検討を行い、支援の質の向上につなげていきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	IPPO須磨校				公表日	2026年 3月 30日					
		利用児童数	41名		回収数	32					
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2	0	0	もう少し広いほうがよりよいかもしいです。 不足する広さを場づくりとアイデアでカバーされ、子どもたちを楽しく、運動に向かえるようにされているとおもいます。	十分に活動スペースを確保できるように物の配置など環境整備に努めます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	2		職員の配置基準を満たしていますが、今後もよりよい支援が行えるように努めていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	3	学習スペースを別にとったり、道具・おもちゃの配置がわかりやすい。 わかりやすくされていると思います。	引き続き学習スペースや療育スペース、余暇活動スペース等の場を別に取り、児童がよりよく過ごせるように環境づくりをしていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	0		清掃を日常的に行い、消毒を徹底して行っております。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2	0	0		児童の特性や発達段階に応じた支援を行うために専門知識を深めるための研修を行います。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	0	0	0		支援プログラムに基づき支援を行っていますが、支援内容を見直しながら適切な支援が行えるように努めます。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	0	定期的に個別に支援計画書を作っております。	児童や保護者の方のニーズや困りごとを伺い、情報を共有し職員同士で話し合い、個別支援計画書を作成しています。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	1		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、具体的な支援が行えるように個別支援計画書を作成していきます。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	0	0	0		計画に沿った支援が行えるよう日々ミーティングを行い、情報共有を行っていきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	0	0	0	イベントが多い。 子供が楽しく運動できるようにいつも色々考えて下さっていると思います。	今後も児童が楽しみながら活動に取り組めるような体操やイベントを取り入れ、活動が固定化されないように工夫していきます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	4	10	IPPO他事業所などと合同。	他事業所との合同イベントや交流を引き続き行っています。			
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	0	0		利用に関して説明を丁寧に、安心して利用していただけるように努めていきます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	1	0		放課後等デイサービス計画を作成する際には支援内容について説明を行い、保護者の方にご理解していただけるように努めていきます。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	5	10	見逃しているかもしれない。 ペアレントトレーニング参加したいです。開催される際、アナウンスしてほしいです。	今後、保護者の方への研修や情報提供の機会について検討し、実施する際には保護者の方にご案内してまいります。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	3	0	1	送り時は時間が限られているので深い話まではできていない、その日の報告はしっかりもらえている。 その日の活動などいつも教えてくださっています。 いつも送迎の時間にお話しさせていただいています。	今後も送迎時のやりとりや連絡ツール等を通して、児童の様子や活動内容について情報共有を行ってまいります。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	5	4	2	面談はないですが、希望しません。 面談は希望とのことで、年1回でも定期で実施があれば良いと思う。	保護者の方へご希望に応じて面談の機会を設け、子育てや支援について相談しやすい環境づくりに努めていきます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	1		児童や保護者の方の気持ちに寄り添った支援を心がけ、安心して利用していただけるように努めていきます。			

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	8	15		現在、父母の会や保護者会等について実施できていないため今後行っていけるように検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3	0	4	何かあれば相談・面談の対応をしてもらえる。	相談しやすい環境づくりを行い、相談があった際には迅速かつ丁寧に対応できるように努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	1	毎回、終了後活動の報告やLINEやアプリ等で連絡をもらっています。	今後も連絡ツールや送迎時のやり取りを通して、保護者の方との情報共有を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	1	0	1	HUGに活動の様子をのせてくださっています(写真は特に)ありがたいです。	連絡ツールやSNS等を活用し、活動の様子や事業所の取り組みについて分かりやすく発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	0	SNSの顔出し可、不可等守っていただいています。ちゃんと他児の写真がぼかされて配慮されていると思いました。	個人情報の取り扱いについて研修を行い、今後も徹底してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	2	0	6	初めに説明を受けたように思うが…。	各マニュアルに沿って訓練を実施しておりますが保護者の方へ周知できるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	12	一度、避難訓練をしたと聞いたことはありますが定期的かどうか不明でした。	定期的に避難訓練や消化訓練を行っております。保護者の方へ周知できよう努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	4	説明を受けたように思うが…。	児童の安全確保のための体制を整え、安全に配慮した支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	3	今までにそういった事態はないが、連絡・報告は常にしっかりされている。	緊急を要する場合は発症時に保護者の方へ連絡をし、その他の傷病に関しては送迎時にお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	0	0	0	嫌がることなくいつも楽しく通わせてもらっています。	安心してご利用していただくために児童に寄り添ったコミュニケーションを心がけ、信頼関係を築いていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	2	0	毎週楽しく通所していると思います。休日のイベントも楽しみにしています。	体操やイベント等、児童が「楽しい！」と思える内容を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	0	0	0	毎回細やかなフィードバックを頂いています。好きや楽しいをうまくつづけて、様々な運動経験をつめるようにされていると思います。	今後も満足していただけるよう支援の質の向上を図り、努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPO須磨校		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		運動スペース、勉強部屋、余暇活動スペースに分け活動を行っています。	運動スペースを広く活用できるよう、物の配置等、環境整備に行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		職員の配置基準を満たして支援しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		児童に分かりやすいように視覚支援(掲示)を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃、消毒を徹底して行い、心地よく過ごせるようにしています。活動するスペースを分け児童が過ごしやすい空間づくりを行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別に部屋が使用できるように環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		ミーティングを行い職員同士で意見交換をし目標設定と振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	評価表を通して意見を把握し、業務改善に繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング等を通して職員の意見交換を行い、支援内容や環境整備の改善に繋がっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による外部の評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	社内研修を定期的に行い、支援の質の向上を図っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成しホームページに公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者の方や児童にアセスメントを行い、一人一人に合った計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援に関わる職員で情報共有を行い、児童の状況を踏まえた計画書を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		情報共有を行い計画に沿った支援を行えるよう日々ミーティングを行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の活動の様子や行動を観察し必要に応じてアセスメントを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインを踏まえ、本人支援だけでなく家族支援等の連携を意識しながら計画書の作成をしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		日々、職員間でミーティングを行い活動プログラムの立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		活動プログラムが被らないように毎日プログラムの変更を行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの状況に応じて個別活動と集団活動が行えるように計画書の作成と支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝、職員間で当日の支援内容や送迎、役割分担について確認を行い、チームで連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終了後はその日の活動内容や支援内容について振り返りを行い、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日振り返りを行い、職員間で情報を共有し記録に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		4つの基本活動を組み合わせながら児童の発達や興味に応じた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		体操活動では特に自己選択、自己決定できる機会を設け、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		職員間で情報共有を行い、児童の状況を把握している職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		関係機関と連携を図り、児童にとってより良い支援体制の構築に努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		下校時間や行事については保護者の方から情報を得ています。連絡調整は適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		一部の児童発達支援事業所との連携は行い、支援内容等の相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		これまで情報を提供する機会はなかったが、今後は支援内容など情報が提供できるように準備します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		現在、地域の児童発達支援センターとの連携が図れていないため、今後は助言や研修を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		現在、放課後児童クラブや児童館との関りが少ないため、今後は地域との関りや交流の機会を増やしつながりを広げていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		現在、協議会等参加できていない為、今後は地域の協議会等に参加できるよう情報を把握し、支援の質の向上につながるよう取り組んでいます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡ツールを使って日々の活動の様子を伝え、保護者の方との情報共有を行いながら共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		現在、保護者向けの研修や情報提供の機会がないため今後行っていけるよう検討していきます。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学体験時や契約時に書面にて、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		送迎時のやり取りや書面にて保護者の方の意向やニーズを把握し、児童の気持ちや希望を踏まえた支援内容の検討を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		作成した計画書を用いて保護者の方に説明を行い、署名による同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時に悩みや相談に適切に対応するよう心掛け、保護者の方が相談しやすい環境づくりを継続して行っていきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		現在、父母の会や保護者会等について実施できていないため今後行っていけるように検討していきます。

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		契約時に苦情窓口の説明を行い、保護者の方へ周知しています。相談や苦情があった場合は職員で話し合い、迅速に対応できるように心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		SNSや連絡ツールを通して活動内容やイベントの情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		連絡ツールで写真を公開する際は他児の顔が写らないように配慮している。また、個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		児童に対しては視覚支援カードを用いて意思の疎通や情報伝達を行っています。保護者の方へは送迎時や連絡ツールで日々の活動の様子を伝えていきます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所主催の行事は行っていないが、地域の行事に参加しています。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアル等を作成し、訓練を実施した際には保護者の方への周知を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害時を想定した避難訓練等を定期的実施し、必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		事前に保護者の方への聞き取りや書面で児童の状況を把握しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		事前に保護者の方に聞き取りを行いアレルギーの有無を把握しています。イベント等で食材を使用する場合は再度アレルギーの有無を確認し対応を徹底しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		必要な研修や訓練を実施し、十分な安全管理のもと支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		保護者の方と連携が図れるよう緊急連絡先等の情報共有を行い、避難訓練等を行った際には保護者の方へ周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	ヒヤリハットがあった場合、職員で情報共有を行い再発防止に向けて取り組んでいます。	今後は記録に残せていない部分はより細かく記録に残し、事故防止に向けた取り組みを強化していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的に虐待防止について研修や委員会を開催し、職員で情報共有を行い適切な支援が行えるように心がけています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		定期的に身体拘束適正化についての研修や委員会を開催していますが現在は該当する児童はいないため計画書に記載はしていません。		